

野球部サヨナラ勝ちで予選通過、本大会へ！

第132回全尾張高等学校野球選手権大会知多地区予選が行われた。

Bブロックの東浦高校は、2日に阿久比・内海・大府東・武豊の4校連合チームと対戦し、15対7で7回コールド勝ちした。そして3日にブロック決勝戦で横須賀高校に6対5でサヨナラ勝ちし、本大会出場を決めた。

終盤に相手打線につかまり0対4とリードされたが、8回の裏に犠牲フライと相手のミスで追いついた。タイブレーク方式となった延長10回の表に1点取られるものの、裏の攻撃で同点、さらに満塁から犠牲フライでサヨナラ勝ちした。苦しい展開が続いていたが、エースをはじめとした「勝ち」へのこだわりが勝利を呼び寄せたと感じた。

県大会後の主力の故障で、ベストメンバーではなかったが、苦しい試合を何とか勝ち切り、本大会に進出できたことは大きな力になるであろう。

(文・写真 校長)



エースの力投



左中間を破る三塁打



ケガの主将が伝令に



サヨナラ勝ちの瞬間